



2017年3月

# 使用上の注意改訂のお知らせ

スルホニルウレア系経口血糖降下剤  
日本薬局方 グリメピリド錠

## グリメピリド錠0.5mg「科研」 グリメピリド錠1mg「科研」 グリメピリド錠3mg「科研」

Glimepiride Tab.

このたび、標記製品の「使用上の注意」を改訂いたしましたので、お知らせ申し上げます。  
今後のご使用に際しましては、下記の内容をご参照くださいますようお願い申し上げます。

### ■改訂内容（ \_\_\_\_\_ : 改訂・追記部分、 \_\_\_\_\_ : 削除部分）

改訂後	改訂前																												
<b>【使用上の注意】</b> 3.相互作用 省略（変更なし） 併用注意（併用に注意すること） (1)血糖降下作用を増強する薬剤 1)~2):省略（変更なし） 3)薬剤名等:作用機序	<b>【使用上の注意】</b> 3.相互作用 省略 併用注意（併用に注意すること） (1)血糖降下作用を増強する薬剤 1)~2):省略 3)薬剤名等:作用機序																												
<table border="1"><thead><tr><th>薬剤名等</th><th>作用機序</th></tr></thead><tbody><tr><td colspan="2">(省略、変更なし)</td></tr><tr><td colspan="2" style="text-align: right;">削除→</td></tr><tr><td colspan="2">(省略、変更なし)</td></tr><tr><td>(省略、変更なし)</td><td>血中蛋白との結合抑制</td></tr><tr><td>オキシカム系消炎剤 ロルノキシカム 等</td><td>〔これらの消炎剤は蛋白結合率が高いので、血中に本剤の遊離型が増加して血糖降下作用が増強するおそれがある。〕</td></tr><tr><td colspan="2">(省略、変更なし)</td></tr></tbody></table>	薬剤名等	作用機序	(省略、変更なし)		削除→		(省略、変更なし)		(省略、変更なし)	血中蛋白との結合抑制	オキシカム系消炎剤 ロルノキシカム 等	〔これらの消炎剤は蛋白結合率が高いので、血中に本剤の遊離型が増加して血糖降下作用が増強するおそれがある。〕	(省略、変更なし)		<table border="1"><thead><tr><th>薬剤名等</th><th>作用機序</th></tr></thead><tbody><tr><td colspan="2">(省略)</td></tr><tr><td>ピラズロン系消炎剤 ケトフェニルブタゾン</td><td>血中蛋白との結合抑制、 腎排泄抑制、肝代謝抑制</td></tr><tr><td colspan="2">(省略)</td></tr><tr><td>(省略)</td><td>血中蛋白との結合抑制</td></tr><tr><td>オキシカム系消炎剤 テノキシカム</td><td>〔これらの消炎剤は蛋白結合率が高いので、血中に本剤の遊離型が増加して血糖降下作用が増強するおそれがある。〕</td></tr><tr><td colspan="2">(省略)</td></tr></tbody></table>	薬剤名等	作用機序	(省略)		ピラズロン系消炎剤 ケトフェニルブタゾン	血中蛋白との結合抑制、 腎排泄抑制、肝代謝抑制	(省略)		(省略)	血中蛋白との結合抑制	オキシカム系消炎剤 テノキシカム	〔これらの消炎剤は蛋白結合率が高いので、血中に本剤の遊離型が増加して血糖降下作用が増強するおそれがある。〕	(省略)	
薬剤名等	作用機序																												
(省略、変更なし)																													
削除→																													
(省略、変更なし)																													
(省略、変更なし)	血中蛋白との結合抑制																												
オキシカム系消炎剤 ロルノキシカム 等	〔これらの消炎剤は蛋白結合率が高いので、血中に本剤の遊離型が増加して血糖降下作用が増強するおそれがある。〕																												
(省略、変更なし)																													
薬剤名等	作用機序																												
(省略)																													
ピラズロン系消炎剤 ケトフェニルブタゾン	血中蛋白との結合抑制、 腎排泄抑制、肝代謝抑制																												
(省略)																													
(省略)	血中蛋白との結合抑制																												
オキシカム系消炎剤 テノキシカム	〔これらの消炎剤は蛋白結合率が高いので、血中に本剤の遊離型が増加して血糖降下作用が増強するおそれがある。〕																												
(省略)																													

### ■改訂理由

同一成分薬の使用上の注意の改訂に伴い、自主改訂により「相互作用（併用注意）」の項を改訂いたしました。

なお、改訂内容につきましては、日本製薬団体連合会発行の「DRUG SAFETY UPDATE 医薬品安全対策情報（DSU）No.257」（2017年3月）に掲載されます。また、改訂後の添付文書全文につきましては、独立行政法人 医薬品医療機器総合機構のホームページ（<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html>）、または弊社ホームページ（<http://www.kaken.co.jp/>）でご確認ください。





発売元  
**科研製薬株式会社**  
東京都文京区本駒込2丁目28-8

**DAITO**

製造販売元  
**ダイト株式会社**  
富山県富山市八日町326番地